



2018.06.30 (Sat) 13:00-19:00

「日本全国！地域仕掛け人市 2018」開催報告

6月30日(土)、EBiS303 エビススバルビル(渋谷区恵比寿)にて「日本全国！地域仕掛け人市 2018」を開催いたしました。全国各地から33の出展団体が一堂に会し、当日は、全国各地より540名の方々が来場いたしました。

地域仕掛け人市は、参加者と地域で日々アクションを起こしている仕掛け人が、顔を合わせて直接話ができる出会いの場です。仕掛け人達は、地域特性を示す資料や衣装、地域製品の試食などの五感で地域の魅力を伝えるため、様々な工夫を凝らした個性豊かなブースで参加者を迎えます。交流ブース内は終始賑わいがあり、参加者と仕掛け人両者の真剣な眼差しが印象的な場となりました。



今年度の仕掛け人市では、昨今の副業解禁という動きや、過去のイベント参加者から「副業・兼業・プロボノ・インターンなどを通じ、都市部に住みつつ地域と関わる方法を模索したい。」という声を受け、多様な関わり方を探している方々へのアプローチを強めることで、他のイベントとの差別化を図るとともに、首都圏人材へのイベントの訴求力を高めていくことを目的として、就業以外の働き方（副業・兼業・プロボノ・インターン等）の求人案件に特化した募集を行う「新しい働き方ブース」を設置いたしました。



また、今年度のテーマ別セッションは、地域で仕掛けることのやりがいや魅力、地域での仕事、起業、移住に関する下記4つのテーマで実施いたしました。当日は、全セッションが満席となり、「今までにない価値観に出会えた」「新しい自分に気づけた」という参加者の声が数多く聞かれました。

各テーマ別セッションテーマ

- ターム1「継業 (VS 起業)」 夢の実現は地域での継業で。そのビジネス応援されたいでしょ。
- ターム2「働き方改革」 2030年の働き方探求
- ターム3「関係人口作り」「関係人口」を考える
- ターム4「暮らし」 生き方としてのコミュニティの選び方



仕掛け人市が、参加者と出展者のみなさまとの繋がりをもたらすきっかけとなり、各々が想いを実現する一歩となりますと幸いです。参加者および出展者の皆さま、ご参加、ご出展頂きまして誠にありがとうございました。

1. 開催概要

- ・ イベント名：「日本全国！地域仕掛け人市 2018」

- ・ 日時：2018年6月30日（土）13:00～19:00

- ・ 場所：EBiS303(〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-8 エビススバルビル)

- ・ 来場者：540名

- ・ 実行委員会主催団体：日本全国！地域仕掛け人市実行委員会（株式会社御祓川／一般社団法人フィット シャーマン・ジャパン／株式会社ツナグム（京都移住計画）／株式会社熊野古道おわせ／NPO 法人学生人材バンク／一般社団法人いなかパイプ／NPO 法人 ETIC.）

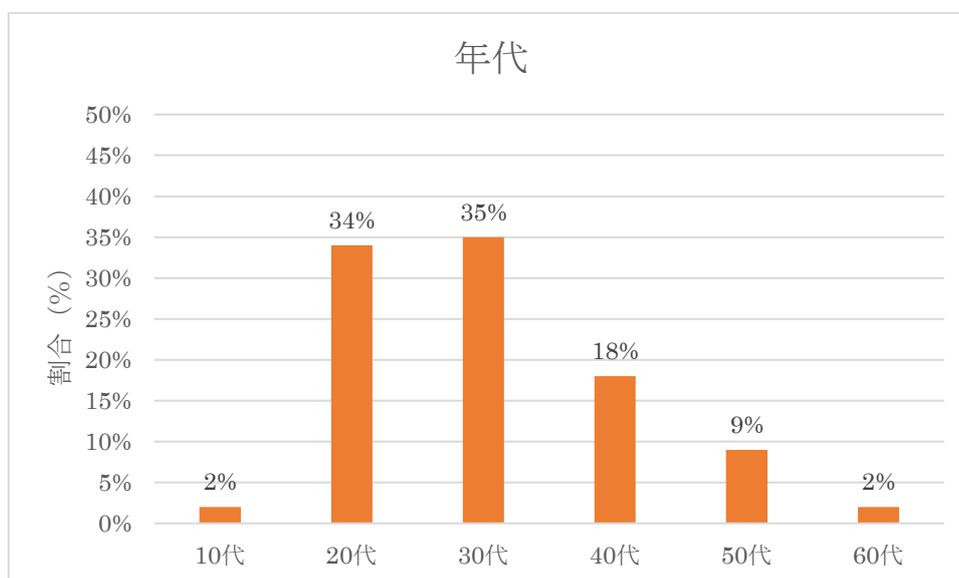
- ・ 出展団体：計 33 団体
 1. 京都移住計画／株式会社ツナグム（京都府）
 2. 株式会社いろどり／上勝町役場（徳島県上勝町）
 3. 日添（熊本県五木村）
 4. 鳥取面白求人／NPO 法人学生人材バンク（鳥取県）
 5. 「四国の右下」若者創生協議会（徳島県・県南地域）
 6. 一般社団法人フミダス（熊本県南小国町）
 7. 一般社団法人こゆ地域づくり推進機構（宮城県児湯郡新富町）
 8. 錦江町・まち・ひと・『MIRAI』創生協議会（鹿児島県肝属郡錦江町）
 9. 秋田県羽後町（秋田県羽後町）
 10. Next Commons Lab（全国）
 11. 島根県雲南市（島根県）
 12. NPO 法人てごねっと石見（島根県）
 13. 高校魅力化コーディネーターチーム（島根県）
 14. 栃木県那須烏山市まちづくり課（栃木県）
 15. 利尻町まちづくり政策課定住移住推進係（北海道利尻町）
 16. 北海道厚真町／エーゼロ株式会社（北海道厚真町）
 17. 西粟倉村役場／エーゼロ株式会社（岡山県西粟倉村）
 18. NPO 法人 ETIC.（東京都渋谷区）
 19. 一般社団法人ワカツク（宮城県）
 20. Next Commons Lab 南三陸・移住支援センター（宮城県南三陸町）

- 21.気仙沼まち大学運営協議会／気仙沼市移住・定住支援センターMINATO（宮城県
気仙沼市）
- 22.NPO 法人プラットフォームあおもり（青森県）
- 23.株式会社温泉道場（埼玉県）
- 24.地域づくり支援センター／新発田市（新潟県新発田市）
- 25.一般社団法人いなかパイプ（四国南部（高知県・愛媛県））
- 26.NPO 法人 G-net ～挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に～（岐阜県・愛知県）
- 27.釜石ローカルベンチャーコミュニティ（岩手県釜石市）
- 28.尾鷲市&南伊勢町（三重県）
- 29.コンソーシアムハグクミ（宮城県石巻市）
- 30.茨城県北クリエイティブプロジェクト（茨城県）
- 31.YOSOMON！（全国）
- 32.DIAGONAL RUN TOKYO／福岡銀行（東京都中央区／福岡県）
- 33.能登の人事部（石川県七尾市）

2. 当日タイムライン

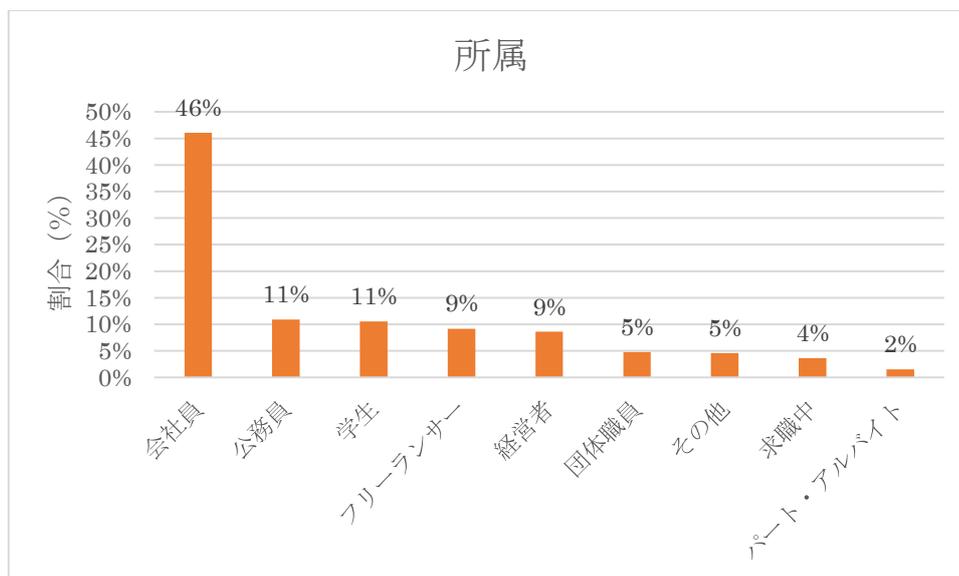
12:30-	受付開始
13:00-	開場
13:00-13:15	オープニング
13:15-14:15	テーマ別セッション 1
14:30-15:30	テーマ別セッション 2
15:45-16:45	テーマ別セッション 3
17:00-18:00	テーマ別セッション 4
13:15-19:00	ブース交流（終日）
13:15-17:30	3分プレゼンテーション
14:00-18:10	個別相談ブース
19:00	イベント終了

3. 来場者データ（参加者数合計：540人）



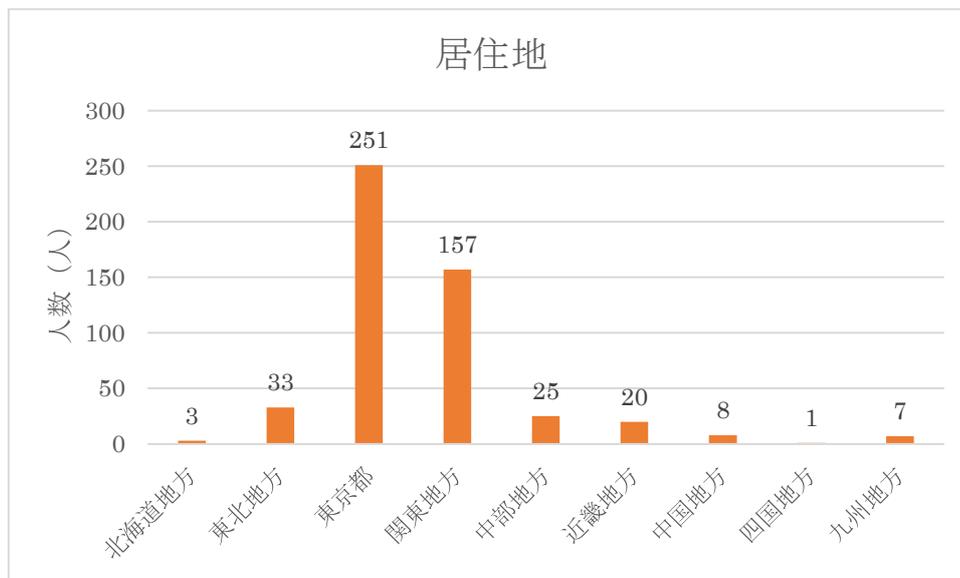
→ 20～30代が、全体の約70%を占めている。

また、昨年度も20～30代が約80%と、参加者の大部分を占めていた。

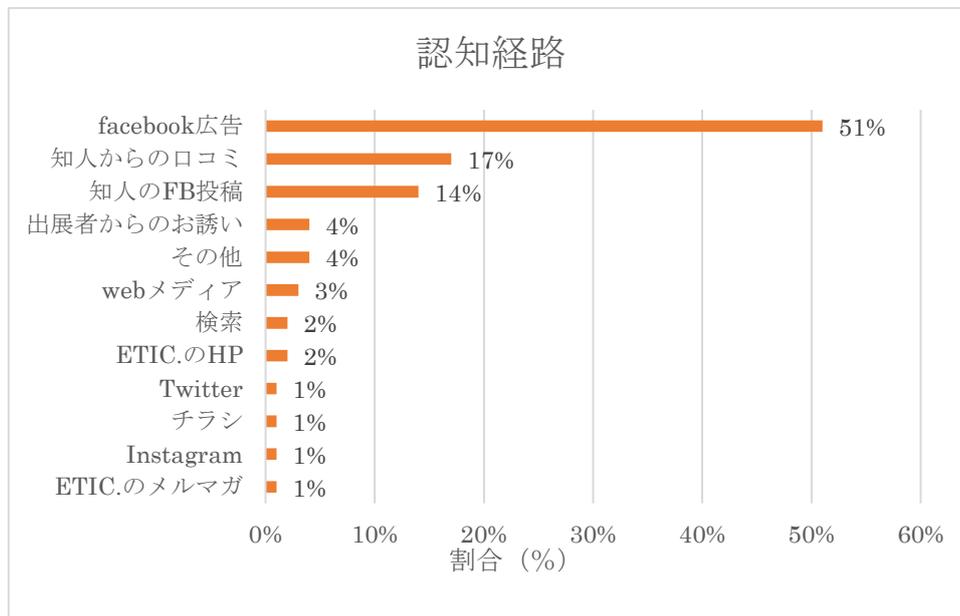


→ 会社員が最も多く、全体の約50%を占める。

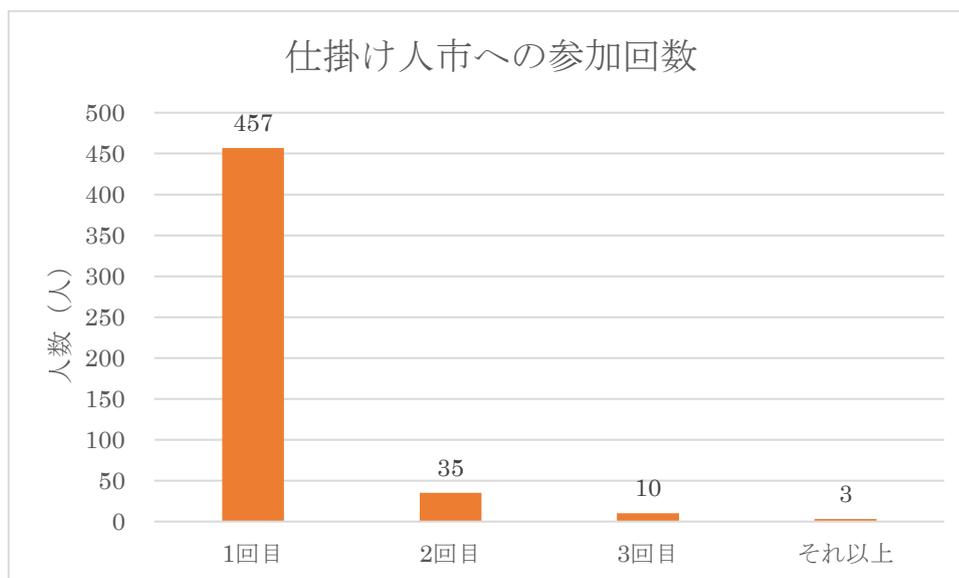
・会社員に次いで多かったのは、公務員・学生である。



- ・参加者全体で見ると、東京を居住地とする方が全体の約 45%、さらに関東（東京含む）居住者が全体の約 75%を占めるが、都内近郊のみならず、北は北海道、南は沖縄まで、全国各地から参加していることが分る。
- ・最も来場者が少なかったのは四国地方を居住地とする方々であった。



- ・Facebook 広告で本イベントを認知し、参加した方が全体の約 50%を占めている。これは昨年と同様の結果であった。



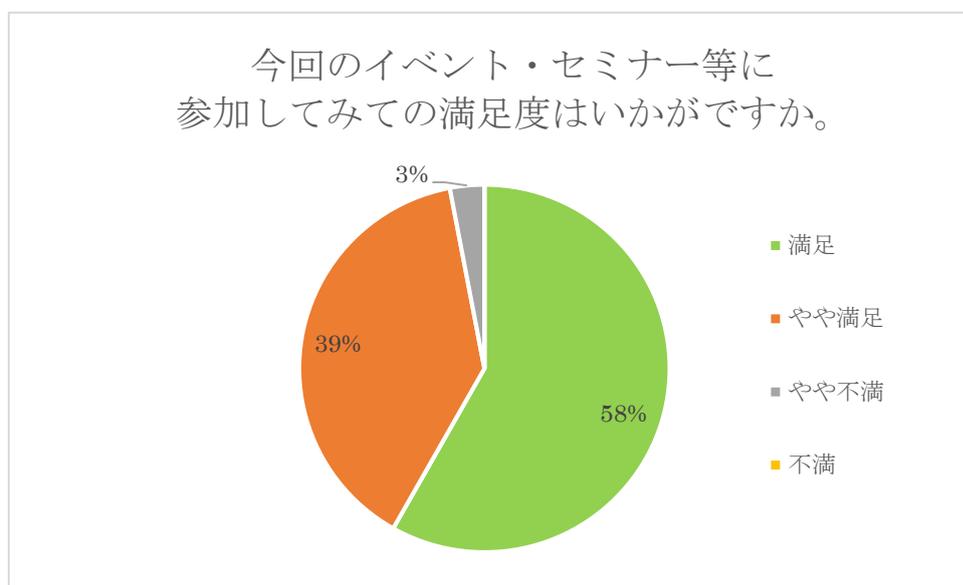
-
- 1回目の参加の方が全体の約85%を占めることから、リピーターではなく、新たに仕掛け人市を知って参加された方が多くいたことが分かる。
 - 2回目以上参加の方(2回目・3回目・それ以上)は、全体の約8%であった。

4. アンケート結果（回答数：137名、回答率：25.4%）

【Q1】 今回のイベント・セミナー等に参加してみたの満足度はいかがですか。

（回答数：134 件）

【A1】



→ 「満足、やや満足」合わせて全体の97%を占めていたことから、全体的に満足度の高い方が多かったということが読み取れる。

- ・「やや不満」は Q1 回答人数の 134 名中 4 名であり、具体的な意見としては、イベントに対して、学生を対象としたブースの設置や、参加者同士の対話のコンテンツを求めるものがあった。

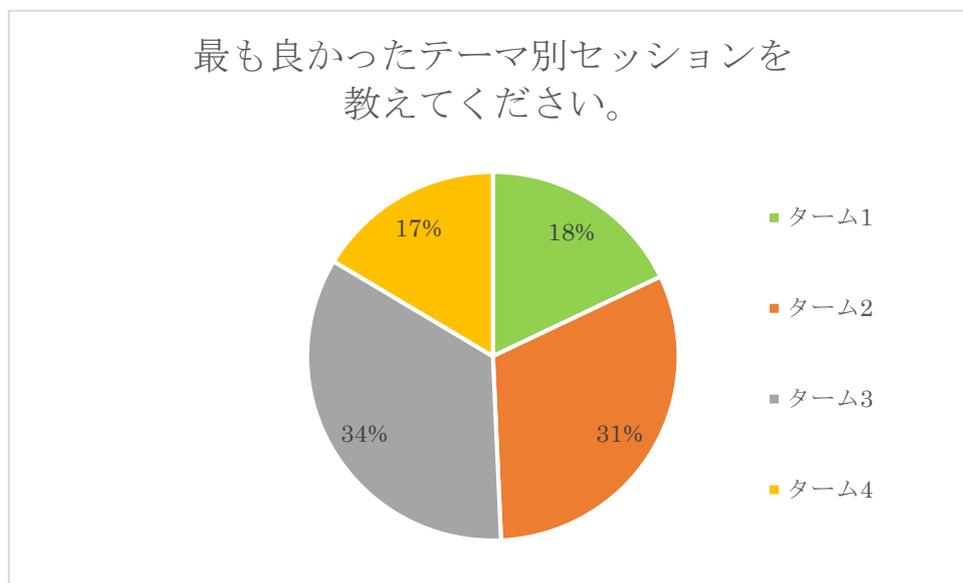
【Q2】 本イベントに期待していたことは何ですか。また、それは達成されましたか。

（抜粋、回答数：99 件）

- 【A2】
- ・様々な地域想いの方との出会い。今度行く、というツアーへの参加の糸口など見つけられてよかった。
 - ・自分の中での「地域との関わり方」というものの概念を良い意味で変えてくれるコトバとの出会い。達成された。
 - ・二拠点移住の候補を探していました。いくつか良さそうな地域があったので、今度実際に訪れたいと思います。
 - ・地域で働きたい、住みたいという世の中のニーズに対して、どのような活動が始まっているかが知りたくて来ました。目的は果たせたと思います。

【Q3】最も良かったテーマ別セッションを教えてください。(回答数：73件)

【A3】



ターム1「継業 (VS 起業)」夢の実現は地域での継業で。そのビジネス応援されたいでしょ。

ターム2「働き方改革」2030年の働き方探求

ターム3「関係人口作り」「関係人口」を考える

ターム4「暮らし」生き方としてのコミュニティの選び方

→・最も良かったテーマ別セッションとして選んだ方が一番多かったのはターム3「関係人口作りー“関係人口”を考える」、次いで選んだ方の割合が大きかったのはターム2「働き方改革ー2030年の働き方改革」であった。この結果は、始めにも少し述べた、就業以外の新しい働き方への関心の高まりを表しているのではないだろうか。

- ・ターム2・3と比較して、ターム1・4を最も良かったテーマ別セッションとして選んだ方の割合が小さかった。この2つのセッションは、そもそもの参加人数がターム2・3よりも少なかった。このことは、ターム1がオープニングの直後、ターム4が仕掛け人市の終盤に行われたことと関係があると思われる。

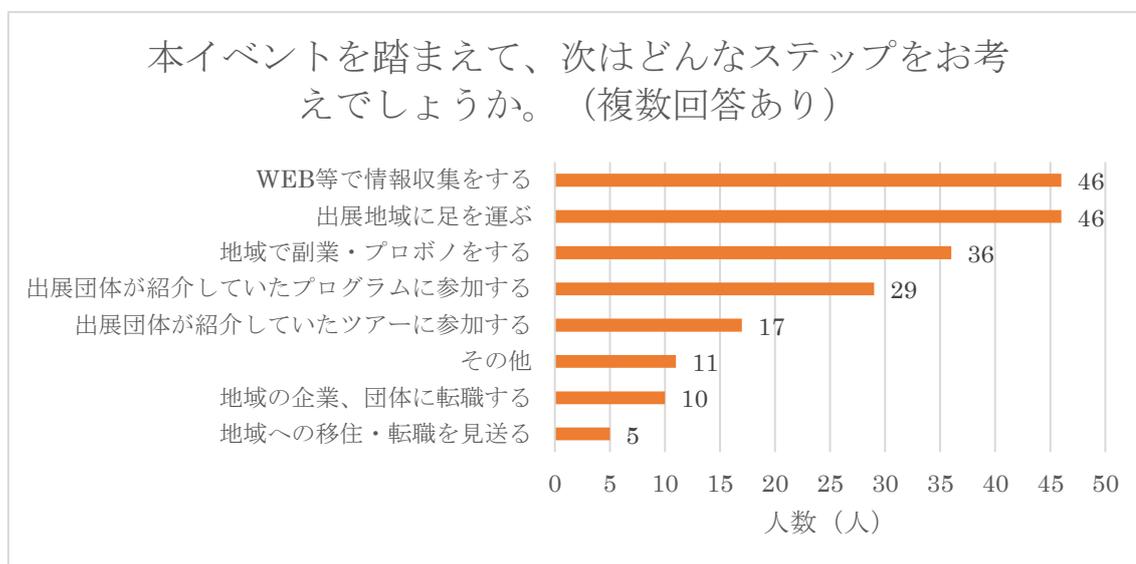
【Q4】 イベント全体を通して、印象に残った言葉、「これは！」と思った出逢い、参加しようと思った仕事・プログラムなど、今回のイベントに参加して得たこと、学んだことをお聞かせください。(回答数：74件)

【A4】 ・地域仕掛け人の方々の熱い思い。ネットでは全く掴めないことがあり、「かかわる（直接）」ことの大切さを改めて実感できました。

- ・テーマ別セッション2のプロボノ、副業、移住のそれぞれのレイヤーの3人の意見がとても貴重だった。モデレーターも上手くまとめていて、真の働き方改革の話になり、参加して良かった。
- ・いきなり移住して転職という訳ではなく、今の環境で働きながら地域と関わることができると思った。
- ・アイデアを話したときに、自分の町でどうやったらそれが実現できるかなど、具体的に教えてもらったところが良かった。
- ・それぞれのブースの飾りつけ、楽しんで楽しませる工夫。自由な雰囲気がとても素敵だと思いました。

【Q5】 本イベントを踏まえて、次はどんなステップをお考えでしょうか。(複数回答あり、回答数：121件)

【A5】



→ ・WEBでの情報収集、出展地域を実際に訪れることを次のステップとして考えている方が最も多いという結果になった。そのため、出展団体と関わる前に、関心を持った地域がどんな所なのか事前に情報収集し、自分の目でそれを確かめるために現地を訪問する、という段階的なステップを踏みたいと考えている参加者が多かったように思われる。

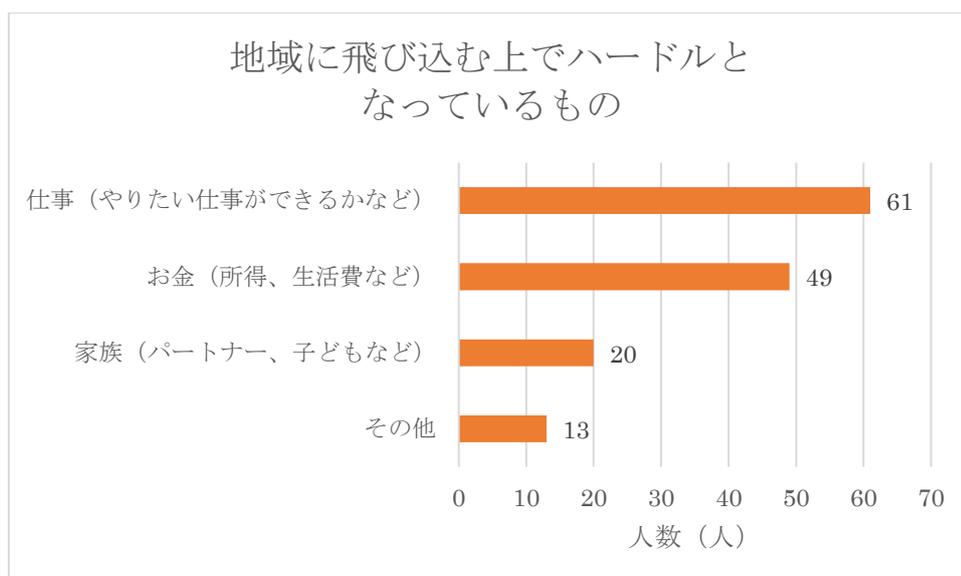
- ・上記の2つに次いで多かったのは、地域で副業・プロボノをするという選択肢であった。また、【Q3：最も良かったテーマ別セッションを教えてください】においても、ターム2「働き方改革－2030年の働き方改革」を選んだ方が比較的多かった。この結果から、地域での副業やプロボノに関心のある層がより多く参加したことが予想できる。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・地域で起業する
- ・自分のいる地域で行う活動の参考にする
- ・仕掛け人と連絡を取り、企画書等を送る

【Q6】あなたが地域に飛び込む上でハードルとなっているものは何ですか。（複数回答あり、回答数：119件）

【A6】



→地域に飛び込む際のハードルになっていると感じている方が最も多かったのは「仕事」であり、次いでお金、家族という結果であった。

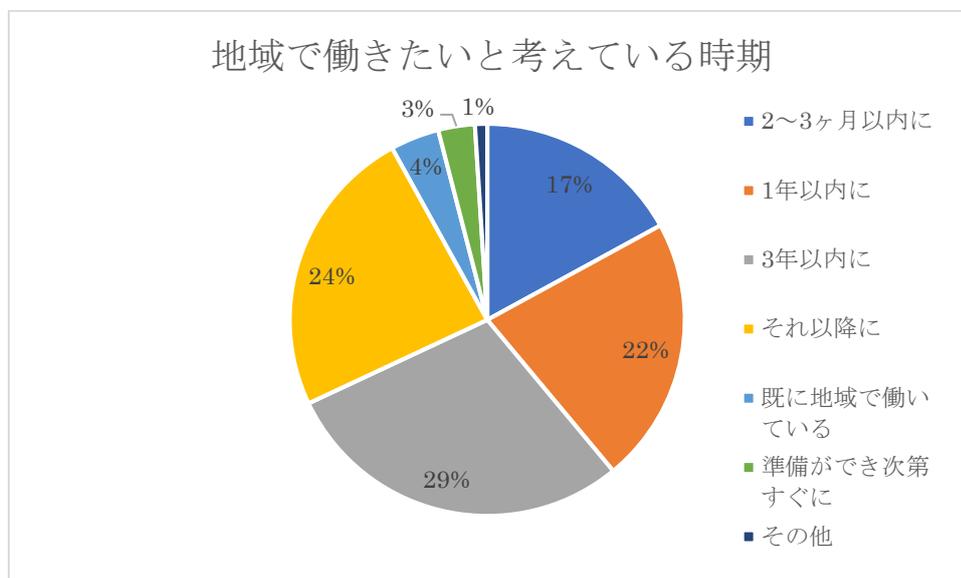
地域にいても、自身のやりたい仕事ができるのか、給与基準が低い中でも安定した生活を送れるだけの収入が得られるのか、という点を気にしている方が多いのではないかと考えられる。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・地域の方との関係作り、受け入れ体制
- ・地域に飛び込むタイミング
- ・ビジネススキル

【Q7】いつから地域で働きたいと考えていますか。(回答数：121件)

【A7】



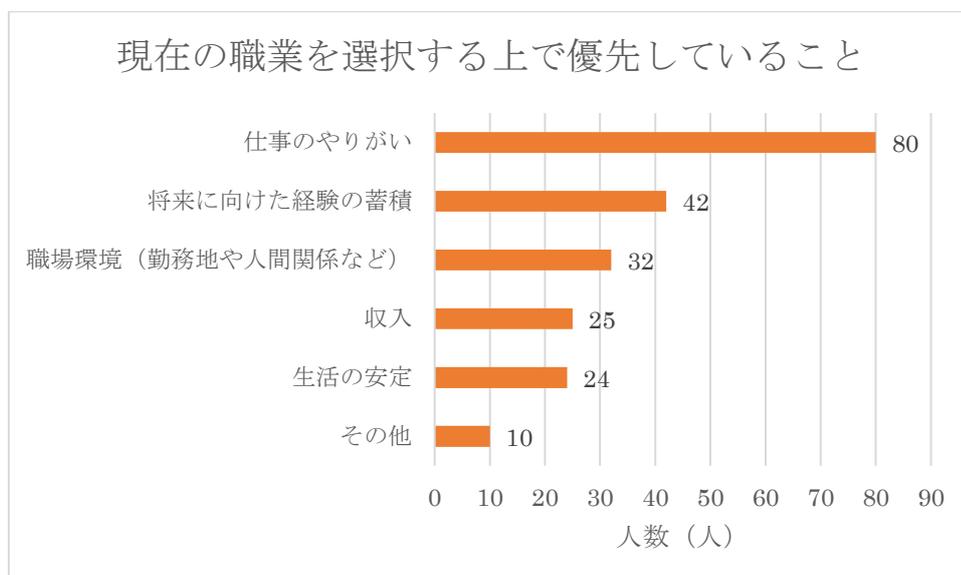
→1年以内に地域で働き始めたいと考えている方が、「2～3ヶ月以内、1年以内」合わせて全体の約40%を占める。また、「3年以内に」と答えた29%と合わせ、約7割の参加者が、地域で働くことを積極的に考えていると言える。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・ずっと東京を拠点にして働く予定

【Q8】現在の職業を選択する上で、優先していることを選んでください。(複数回答あり、回答数：122件)

【A8】



→・「仕事のやりがい」を優先して現在の職業を選択されている方が最も多く、全体の約 65%を占めている。また、【Q6：あなたが地域に飛び込む上でハードルとなっているものは何ですか】に対しても、「仕事」を選んだ方が最も多かったことから、職業の選択や地方への移住には、「その仕事にやりがいを感じるか」ということが大きく関わっているのではないかと考えられる。

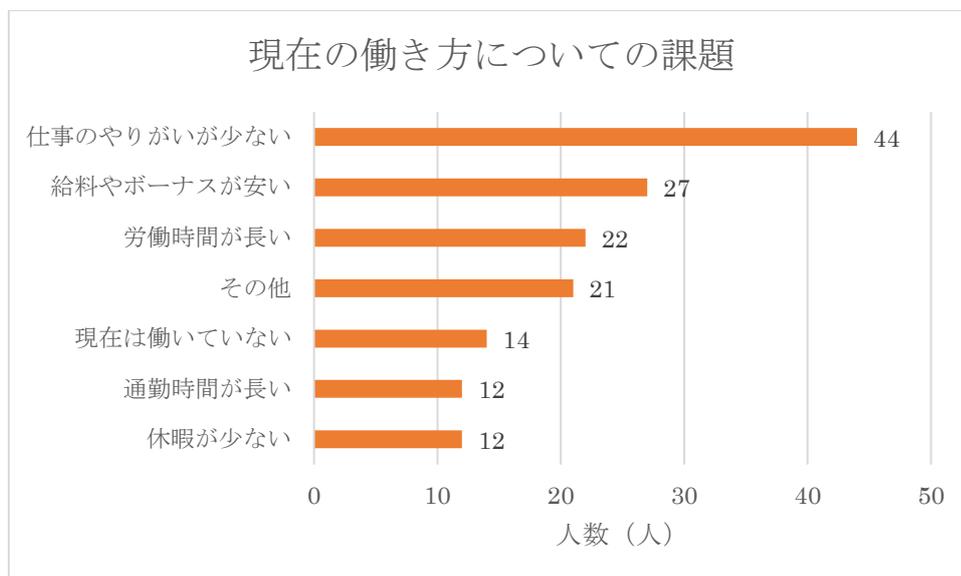
- ・次いで多かったのは、「将来に向けた経験の蓄積」という項目で、これら二つは、生活の安定や収入の項目とは異なり、〈生きていくために必要な最低限のこと+α〉についての項目である。よってこの結果は、自分の内面の成長や、スキルアップに関心を持っている人が多いことを示していると思われる。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・自分のスキルに合うかどうか

【Q9】現在の働き方についての課題を教えてください。（複数回答あり、回答数：101 件）

【A9】



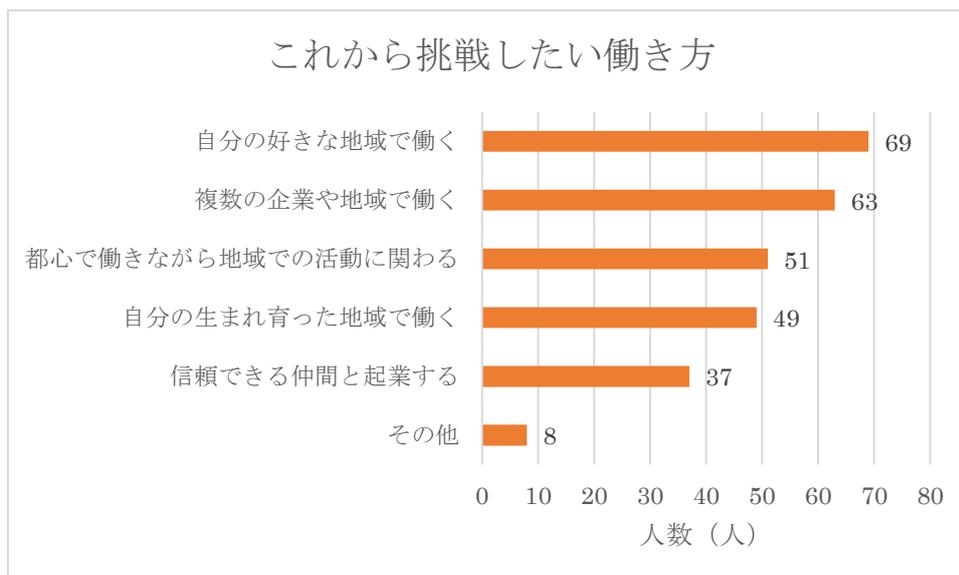
→現在感じている働き方の課題として最も多く選ばれたのは、「仕事のやりがいが少ない」という項目であった。また、先の【Q8：現在の職業を選択する上で優先していることを選んでください】においても、「仕事のやりがい」を選んだ方が最も多かった。これらのことから、現在の仕事をやりがいを求めて選んだが、実際には自分が求めていたやりがいを感ぜられずにいる方が多いのではないかと予想できる。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・家族との時間が少ない。
- ・地方との繋がりが弱い。

【Q10】これから挑戦したい働き方について教えてください。（複数回答あり、回答数：124件）

【A10】



→・最も多かったのは、「自分の好きな地域で働く」という項目であった。「自分の生まれ育った地域で働くこと」という項目と比べて 20 名も多く、地元で働くことにこだわりを持たず、自分が興味を持った新天地で働くことを希望する方が多いという結果になった。

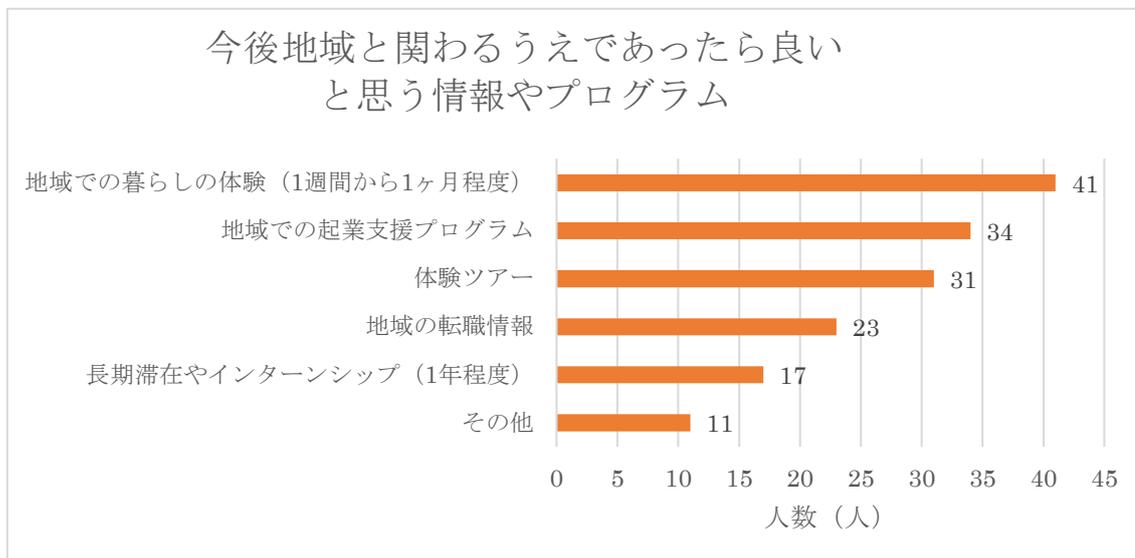
- ・次いで選んだ方が多かったのは、「複数の企業や地域で働く」という項目である。このことは、先程も少し述べた、今回の仕掛け人市の参加者は地域での副業やプロボノに関心のある方が多かったのではないかと、いう予想に繋がり、新しい働き方に関心がある層が多いことがわかる。

〈その他の具体的な内容（抜粋）〉

- ・フリーに動き回りたい。
- ・やりたいことを仕事にしたい。
- ・継ぐ人がいない家業を継いでみたい。

【Q11】 今後、地域と関わるうえでどんな情報やプログラムがあったらいいですか。
(複数回答あり、回答数：113件)

【A11】



- ・ 今後地域と関わるうえであったら良いと思うものとして選んだ方が最も多かったのは、「地域での暮らしの体験」という項目である。このことから、まずは現地の生活を体験し、実際の様子を知った上で、改めて地域との関わりを深めていきたいという方が多いのではないかと思われる。
- ・ 次いで多かったのは「地域での起業支援プログラム」であるため、地域での起業に関心がある層も多く存在することが分かる。

〈その他の具体的な内容 (抜粋)〉

- ・ 副業、兼業情報
- ・ 学生向け (就職) 情報
- ・ プロボノ体験プログラム
- ・ 地域との関わり方を教わるプログラム

5. 新聞掲載記事（参考）

・東京新聞 2018年6月27日（水）掲載分

多くの若者らが訪れた昨年の「地域仕掛け人市」＝渋谷区で（昨年9月、エディック提供）



農村漁村への移住支援

渋谷に33団体出展
30日「仕掛け人市」

都市部住民の中に農山漁村への移住を指向する「田園回帰熱」が高まるなか、各地で地域活性化を仕掛ける団体が一堂に集い、移住支援を行うイベント「地域仕掛け人市2018」が三十日、渋谷区で開かれる。

社会起業の支援などに取り組むNPO法人のエディック（渋谷区）、学生人材バンク（鳥取市）などでつくる実行委員会が主催。良好な自然環境や生きがいのある働き方、暮らし方を求

める移住希望者の思いに応えようと、二〇一四年から開催しており、例年四百人前後の参加がある。

北海道から九州まで三十三団体が出展。東日本大震災からの復興・創生インターンを用意した仙台市の一般社団法人ワカツクや、熊本県南小国町での新規起業者を募る熊本市の同フミダ

地域のチカラ

ス、漁業の担い手などを求める北海道利尻町なども名を連ねる。

各ブースで担当者から直接話が聞け、詳細な地域情報も手に入る。また、「働き方改革」「暮らし」などをテーマに討論会も予定されている。

催しは三十日午後一〜七時、同区恵比寿、エビスバルビル内「EBIS303」で。途中入退場可。参加費は前売り千円、当日券千五百円。問い合わせはエディック＝電話03（5784）2115＝へ。

（山本哲正）

街活性へ「手伝いたい」

仕掛け人市 550人が熱視線



地域仕掛け人市の会場は、希望にあふれた笑顔でいっぱい＝渋谷区で

全国各地で人口減など地域課題の解決に向き合ってきた「仕掛け人」と、これから取り組みたい都市部の人たちをつなぐ「日本全国！地域仕掛け人市2018」が渋谷区で開かれた。

市町村を含む計三十三団体のブースが並び、二十〜四十代を中心に約五百五十人が来場。効率的なマッチングの場になった。「地域が栄えるお手伝いをしたい」。複数の仕事を

地域のチカラ

を組み合わせて暮らす地域の生活を紹介する「能登の人事部」（石川県七尾市）のブースで、立ち寄った参加男性がこう夢を語ると、担当者は「地域は伸びしろがある。能力ある人は引く手あまたです」と手ぶりを交え熱心にアピールした。

社会起業の支援などに取り組むNPO法人のエティック（渋谷区）や、学生人材バンク（鳥取市）などでつくる実行委員会が二〇一四年から毎年開催している。

エティックの柴沼奏さん

（二）は「皆で地域を盛り上げようと準備してきた」。創業支援のNPO法人でこねっと石見（島根県江津市）のブースでは市職員の守山順一さん（三）は「熱い思いを持つ参加者が多く、たくさん質問され、うれしい」。

一般社団法人いなかパイプ（高知県四万十町）で説明役を担う劇団員門田晃さん（四）は「『よっこいしょ』と腰を上げるきっかけを提供したい」と張り切っていた。

さいたま市の主婦志賀志穂さん（五）は「夫婦で地方に移り住むにはそろそろ最後のチャンスかな」と熱心に会場を回った。板橋区の渋谷早苗さん（六）は「南三陸町（宮城県）での活動が気になりました」と出会いを喜んでいった。

（山本哲正）